経年変化で見る子ども読書の現状（次期計画の策定に向けて）

読書は好きですか（当てはまる、どちらかと言えば当てはまる）

		平成３１年４月	令和４年４月
小学６年生	前橋市	78.5%	77.6%
	全国（公立）	75.0%	73.1%

		平成３１年４月	令和４年４月
中学３年生	前橋市	72.7%	71.9%
	全国（公立）	68.0%	68.2%

（全国学力・学習状況調査　文部科学省）

１日当たりの読書時間 ３０分以上（学校以外 月~金）

		平成３１年４月	令和４年４月
小学６年生	前橋市	44.2%	36.9%
	全国（公立）	39.8%	36.4%

		平成３１年４月	令和４年４月
中学３年生	前橋市	32.4%	28.2%
	全国（公立）	27.0%	27.3%

（全国学力・学習状況調査　文部科学省）

上記の表は第三次計画の策定時に設定した目標に関連する指標について、コロナ禍前の平成３１年と世の中がＷｉｔｈコロナに移行し始めた令和４年の前橋市と全国の状況を示したものです。

「読書は好き」に「当てはまる」又は「やや当てはまる」を選択した子どもは、小学 6 年生、中学 3 年生ともに、コロナ禍の前後どちらにおいても全国よりも高い結果となっています。

また、「1 日当たりの読書時間が３０分以上」の子どもについても同様の傾向を示しており、コロナ禍の前後どちらにおいても前橋市の方が全国よりも高い結果となっています。

一方、経年変化を見ると、全国、前橋市ともにどちらの設問も直近データの方が低い傾向を示している点が共通しています。昨今は、急速に変化する社会に順応できる資質や能力を育むことが大人にも子どもにも求められています。とりわけ子どもたちは、１日２４時間の中で勉学や友人との交流、スポーツ、遊び、そして読書など日常生活での様々な経験を通して、自立した社会人として生きるために必要な力を蓄えていく過程にあることから、引き続き読書時間の確保に向けて注力していきます。

次期計画を策定する際は、子どもが主体的に読書活動を行うことが、その子自身の可能性を引き出すことにつながるよう、図書館や学校、地域において時代に合わせた多様な読書機会の提供に努めるなど、子どもの主体性を引き出すことに着目して読書の質を高めていく取組がより一層求められています。

2023(令和５)年９月　**前橋こども図書館**
前橋市本町二丁目 12-1　前橋プラザ元気 21　電話 027-230-8833